

平成28年度第1回京丹波町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成28年5月10日（火）
開会：午後2時 閉会：午後3時56分
- 2 開催場所 京丹波町役場議場
- 3 構成員出席者 7名
寺尾豊爾町長 松本和久教育長 大西弘二教育長職務代理者 櫻井博規委員
藤本英子委員 藤田道子委員 竹吉美公委員
- 4 事務局出席者 9名
中尾総務課長 川畷教育次長 山根社会教育課長
樹山参与 徳島学校教育課課長補佐 木下社会教育課課長補佐
原澤総務課課長補佐 小林総務課係長 井口総務課主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議の概要

〈開会：午後2時〉

○開会
寺尾町長挨拶
松本教育長挨拶

○協議事項

(1) 平成28年度京丹波町事業について
・平成28年度京丹波町当初予算編成概要について、事務局より説明。
【事務局】平成28年度京丹波町事業について説明いたしましたが、説明しました内容についてご質問・ご意見等がございましたら、よろしくお願ひします。
【構成員】質問・意見なし

(2) 京丹波町の教育について（意見交換）
・平成28年度京丹波町教育の指針及び平成28年度当初予算・事業について、教育長より説明。
【事務局】京丹波町教育の指針及び平成28年度当初予算・事業について説明がありまし

たが、内容についてご質問・ご意見等がございましたら、よろしく申し上げます。

【委員】熊本地震で体育館天井の器具等が落下したため、避難所として使用できないとの新聞報道があった。繰越事業として、小中学校体育館施設の耐震改修事業を進めてもらえるのは有難い。かつて経験したことがないことが起きている現在、取り越し苦労となるぐらいの対応をして手を尽くすことが大事である。地域においても、無駄となってもよしとする考えで取り組んでいる。

蒲生野中学校のトイレ改修がようやく終わるとのことによかった。

【教育長】トイレ改修は、生徒の要望でもあった。

【委員】長年の悩みであったようだ。

【教育長】空調設備の整備を始め、ハード面でしっかり予算がついている。

【委員】熊本地震において、校舎の耐震は出来ているが、空調設備が落ちたことから使用不可となった事案の話があったが、今年度、小学校に空調設備が整備されるが、綿密な調査や確認が必要である。体育館だけでなく、空調設備にも意識を向けてほしい。

【委員】地元で空調を設置するが、設計士と話しを詰める必要があると思っている。学校においても耐震改修は行うが、空調設備などのことについても考えるとなると難しい問題である。

【委員】ハード面での充実も大切であるが、子どもにとっては、ソフト面である教職員の質が重要である。瑞穂小学校の入学式に参加したが、1年生の担任の年齢が、上の者でも30代半ばと若いことに驚いた。活気はあるが、学校運営を進める上でバランスも大切である。人材育成としてミドルリーダースキルアップ講座が開催されるとのことだが、参加した教職員が、学んだことを校内に浸透させる機会を設けてもらいたい。ベテランの教職員OBが支援員として学校に配置されていることは有難い。子どもだけでなく、先生に対する支援もあわせてしてもらえたらよい。

【教育長】学校の教職員の半分が20代という時代が過去にもあった。歴史は繰り返され、今もその状況にある。

【委員】教育の指針の説明があったが、配慮しないといけないのは、子どもの貧困問題である。親の都合で子どもにしわ寄せがないよう、悲しい思いをさせないよう配慮しつつ、取り組む必要がある。若い教職員が経験したことがない事案も想定されるので、人材育成をしながら教育にあたってほしい。

予算の説明の中で、安心・活力・愛のある町づくりを推進するとあったが、学校づくりもその方針に添い、その方針を共有しながら、進めていくことが大事である。

子どもの貧困に目を向けられない教師が生まれつつあるという懸念を南丹局で聞いた。若手の育成では、なにより人権教育が大切である。

【委員】特別支援教育は、学校の先生全体で実施する必要がある。通常クラスでも支援が必要な子もいる。先生が意識を高く持ち、レベルアップが必要ではないか。

【教育長】ユニバーサル教育がまさにその視点である。特別な支援が必要な子どもを含め、

すべての生徒に配慮が行き届いた教育のこと。支援が必要なことを理解しないまま教えることが、信頼関係にも影響するとともに、トラブルの背景となっていることがある。ユニバーサル教育を実践する瑞穂中学校では、落ち着いた中で教育が受けられていることから、その経験を大事にしていきたい。

【委員】学校における保護者への対応が見えてこない。学期末の2者面談や学期終わりの面談で、突然子どもの問題について話しを聞き、びっくりした親がいる。学校と保護者のコミュニケーション不足ではないか。学校と家庭の連携によって、課題が解決できることもあるのでは。

【教育長】適切な場面で、保護者と学校の情報共有が出来ているとよいが、出来ていない場合、保護者が不信感を抱くことになる。家庭、地域、学校の連携が取れている事例もあるので、そこから学び、基本理念が隅々まで浸透するようにしていきたい。

【委員】ユニバーサルデザインという言葉を知ったのは、社会教育の担当者会議の時だった。誰でも幸せになれる条件を作るということである。

【教育長】いつ頃のことか。

【委員】平成元年あたりだったと思う。

【教育長】相当前からその視点があったということ。

【委員】昔からあった視点だが、今年度の教育の指針にも明記されており、大事な視点である。

・須知高等学校の現状や今後のあり方について、教育長より説明。

【教育長】京丹波町では、須高をそのまま残す方向である。

【町長】須知高校を守る観点から、町長部局と教育委員会部局が一緒に取り組んでいる。須知高校を守るのが仕事だと思っている。

【委員】SA（スーパーアドバイス）設置後の進路状況結果はすばらしい。町民にも知ってもらえる機会があればよい。

【教育長】公表しないといけないと考える。教職員の中には、須高生が、他校生徒とは質が違うと考えている者がいたが、生徒を信じなければいけない。改革を実施してみると、教職員の意識も変わりつつある。

【委員】2年に進級せず、退学する生徒がいる。亀岡や京都市内から通学している生徒の中には、バスに乗り遅れるなどして、単位が足りずやめる者がいた。遅刻するのはいけないが、毎日早朝から通学するのは大変である。寮を設置する選択肢を考えてはどうか。町の協力がいるが有効な手段ではないか。

【委員】先輩の声が載っている学校だよりを読んだ。1年に1度全戸配布するなどしてはどうか。胸を張れるものである。

【委員】入学式で、先輩の進路状況が分かるものをもらった。府職になった先輩など聞いて、子どもの将来が楽しみと感じた。

【町 長】須高がよくなっていると、広報して知ってもらおうとよい。寮を作るにはいろいろな壁があるのが現状である。JR バスとタイアップし、園部駅から送迎ができればよいが、難しい。町営バスであれば、即対応できるが、JR バスとなるとなかなか難しい。

【教育長】あり方懇話会により提言があった支援策の中から、実現できることを町部局で検討してもらっている。

【町 長】担当課と協議を行い、6月議会に支援策を提案する方向である。

【教育長】見える形で支援を打ち出すことで、須高に行きたいと思ってもらい、来年度は町中学校から入学する生徒を5割としていきたい。

【町 長】町部局と教育委員会部局が協力出来ていることはすばらしい。医療部局とも良好な関係を築いている。雰囲気よくなってきたと感じている。

【教育長】町が府立校のあり方を考えるなど、よい関係であるのは、京都府内に類がないのでは。先進的な取り組みである。

○閉会

大西職務代理者挨拶

〈閉会：午後3時56分〉

会議の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、町長及び教育委員会が署名する。

■ 町長 _____

■ 教育長 _____

■ 教育長職務代理者 _____

■ 委員 _____

■ 委員 _____

■ 委員 _____

■ 委員 _____